



しゅわ 手輪No.76

<編集・発行>

狭山市手話通訳者派遣事務所

(狭山市駅東口事務所)

令和3年11月17日発行

狭山市社協キャラクター
こころちゃん

さやまししゅわつうやくしゃはけんじむしょ
～狭山市手話通訳者派遣事務所だより～

～こころちゃんの手話教室～

☆今回は連絡するときには使える手話を紹介するね。

【スマートフォン】



ポイント

左手は開いて手のひらは上に向け、右手の人差し指でシュッシュッと右斜め前に2回位スライドさせてね。

【電話】



ポイント

右手の親指と小指を立てて、耳にそえてね。その状態から前に動かすと「電話をする」の意味になるよ。

参考：手話しゅわ SHUSHUSHU

手話講習会って何を学ぶところ？



狭山市の手話講習会は2コースあり、それぞれ目的が違います。手話を学びたいという方は学習の際の参考にしてください。

手話奉仕員養成講習会

- 学習内容 日常会話に必要な手話を学ぶ
 - 到達目標 自己紹介(家族、仕事、趣味)や道案内などができるようになる
 - 受講期間 約1年間
 - 受講後にできること
- ①手話・要約筆記の会「天の川」に入会し、聞えない人と交流したり、ボランティア活動をする
 - ②習ったことを活かして地域で困っている聞えない人の助けになる



手話通訳者養成講習会

- 学習内容 手話通訳に必要な手話と通訳技術、通訳理論を学ぶ
 - 到達目標 手話通訳者として活動するために必要な技術を習得
 - 受講期間 約2年間
 - 受講後にできること
- 狭山市登録手話通訳者認定試験を受験
上記、試験合格者は狭山市登録手話通訳者として医療、生活、教育、職業、講演会、会議などの通訳現場で手話通訳をする



～聴覚障害と災害～

最近、日本各地で地震が発生しています。10月には狭山市でも震度4を観測する地震がありました。あらためて、災害時の行動や準備しておくものを確認してみましょう。

●地震のときはイラストのように身を守りましょう



地震が発生したら…

- ①姿勢を低くして、テーブルの下へ
- ②テーブルの下に入り、頭を守る
- ③そのまま動かない

イラスト提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

地震が発生したら、落下物や倒壊物から身を守り、怪我をしないよう行動をすることが大切です。この機会にもう一度、家、職場などの安全な場所を確認しておきましょう。

●日頃から準備しておくといいこと

災害用バンダナ、電話お願い手帳 など

→災害発生時、避難所で活用できます。

近所付き合い、地域の避難訓練への参加

→地域の方に聞こえないことを知ってもらうことで、緊急時の助けになります。



◆聴覚障害者の方は災害のとき、こんなことに困っています。



■周囲の状況がつかめず不安

ご近所に聴覚障害者の方がいるときは、一緒に誘って避難してください。

■防災無線や市の広報車、館内放送が聞こえない

放送された内容を紙に書いて掲示、メールでの配信などをしてください。

■避難所で物資や食料の配給などの情報が伝わらない

すべての情報は掲示し、直接声をかけるなどの配慮をお願いします。

■情報を知るために、手話、映像、文字などの視覚情報が必要

筆談やイラストを用いての説明が必要です。コミュニケーション用の筆記用具やホワイトボードがあると役立ちます。また、手話通訳者、要約筆記者の派遣や手話や文字でやり取りができる遠隔手話通訳サービスの用意などへの配慮をお願いします。



狭山市手話通訳者派遣事務所 (社会福祉協議会東口事務所内)



＜受付日時＞月曜日～金曜日

午前8時30分～午後5時

＜派遣日時＞平日、土日、祝日 午前8時～午後9時

＜派遣場所＞埼玉県内（県外は相談してください）

＜申込方法＞FAX・手紙・電話・メール・来所

＜注 意＞原則3日前までに申し込みが必要

（急な場合は事務所と相談してください）

〒350-1306 狭山市富士見1-1-11

TEL：04（2003）3742

FAX：04（2003）3746

Email:shuwa@sayama-shakyou.or.jp

狭山市役所障害者福祉課に、 聴覚障害者相談員がいます。

わからないことや困ったことがある場合など相談員に連絡してください。
※相談したい方は事前にお問い合わせください。



FAX（障害者福祉課）

04-2952-0615

専用メールアドレス

s70291@city.sayama.saitama.jp